放牛舎桃林（ほうぎうしゃとうりん）　講釋師。天保十二年江戸生れ、明治二十八年八月十四日没（一八四一―一九〇五）。本名鳥左右助、初名泰次郎。前號琴曲、俳號滝々庵香波、柳名狂雲。十八歳の時講談家長命勝五郎の養子となり、實生流の謡（うたひ）、幸流の小鼓を習ふも、のち實家に歸つて講釋師を志し、初代東流斎馬琴に弟子入り。師の没後獨立。揚名舎桃王、泰々齋桃葉、放牛舎桃湖等門弟多數を擁した。また俳諧を橘田春湖、戀綾永機に師事、川柳を二代目川柳（水谷謹）に學んだ。

著書『蜀山人の頓智』（石原明倫速記、明治四十一年五月十五日自省堂・成功堂『頓智文庫』）、『月船』（昭和二十一年九月二十日世界書院『明治大正名人全集』）等。